



小田原市下堀は下堀城とも言われ、北條時代は幻庵や幻庵内室の領地でした。堀はなぜ作られたか、そして北條家家臣賀茂宮氏について解説します。

北條幻庵作と言われる一節切（ひとよぎり）を所有している大村講師が楽器の解説と演奏をします。450年前の音色をお楽しみください。

**石井啓文氏**（キャンパス講師） **大村響堂氏**（キャンパス講師）  
（講師のプロフィールは裏面をご覧ください）

◆ **日時**：2018年10月3日（水）13:30～15:30  
受付 13:00より

◆ **場所**：飯山家母屋  
（小田原市鴨宮698）

※1. 駐車場が無いので、電車等の公共交通機関をご利用ください。

※2. 鴨宮駅から徒歩約8分、裏面の地図をご覧ください。

◆ **定員**：50名（申込先着順）

◆ **費用**：1,000円

◆ **申込**

【申込方法】

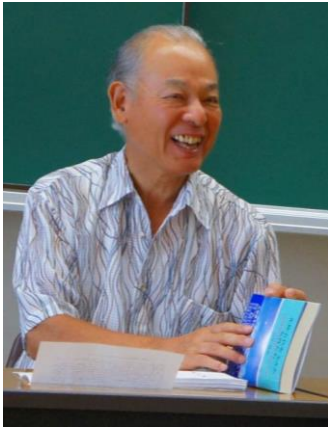
◇ 申込先・問合先：NPO法人小田原市生涯学習推進員の会（生涯学習センターけやき内）

◇ 電話受付：0465-33-1890（平日9時～16時、第4月曜日除く）

又は、キャンパスおだわらホームページから <http://www.campusodawara.jp/kouza/>

## 講師紹介

### 石井啓文(いしいひろふみ)氏



1940年小田原市に生まれる。1996年、同市の生涯学習「きらめき☆小田原塾」の発足とともに市民教授として参加、「小田原の郷土史再発見」をテーマに活動、キャンパス講座を始め各種団体や学校等の要請による自主講座等は70回を超える。

また、小田原史談会でも、同テーマで会報『小田原史談』に60編以上を発表。この間、『小田原の郷土史再発見』『日本最古の水道「早川上水」を考える』『三嶋暦・相模国の弘暦網』『小田原の梅～歴史背景の謎を追う～』『慶應戊辰小田原戦役の真相』『北條五代を支えた女性たち』を出版。

### 大村響堂(おおむらきょうどう)氏



1962年長崎県に生まれ、音楽教師の祖父の影響で幼いころから様々な楽器を嗜む。高校卒業後、就職のため小田原に住み、琴古流尺八竹懂会宗家師範の澤木曲堂に出会い衝撃を受け師事。平成21年に琴古流尺八師範の

免状を授かり響堂を襲名。その後、元東京藝術大学助手の藪内洋介らに師事しオーストリアのウィーンで演奏するなど活動を広げる。現在、琴古流尺八宗家竹懂会師範代、響堂尺八教室主宰、カルチャーセンター小田原「尺八入門」主宰他、日本伝統芸能である尺八の伝承と伝播に積極的に努める。本名:学

## 飯山家周辺地図

..... JR鴨宮駅からの徒歩コース

(鴨宮駅北口から徒歩約8分)

